

第1号議案

平成29年度 事業報告

I 概況

平成29年度の沖縄県の観光入域客数は、957万9,900人(前年度比9.2%増)となり、5年連続で過去最高を更新した。

その要因としては国内航空路線及び海外航空路線の拡充、クルーズ船の寄港回数の増加による外国人観光客の大幅な増加があげられる。

また、那覇市への入込観光客数は、沖縄県全体の約9割と推計され、827万8,917人(暦年)と好調を維持している。

沖縄県の観光客数 (年度)

単位:人

	国内客	外国人客	合計	備考
平成29年度	6,887,900	2,692,000	9,579,900	
平成28年度	6,640,100	2,129,100	8,769,200	

出典: 沖縄県入域観光客統計概況

那覇市の入込観光客数

単位:人

	国内客	外国人客	合計	備考
平成29年	6,163,244	2,115,673	8,278,917	暦年
平成28年度	5,981,552	1,785,490	7,767,042	年度

出典: 那覇市の観光統計(平成29年度版)

II 個別事業報告

1. 総務及び観光協会運営業務

(1) 会員数 431社(平成30年3月31日現在)

平成29年度は、新規に31社の加入があったが、廃業等により23社が退会し、最終的な会員数は431社となった。観光客の受け入れを強化し、那覇市の観光を促進する為には、那覇市観光協会の組織強化が必要であり、今後も引き続き会員拡大に取り組む。

(2) 観光情報誌「NAHA-NAVI」の発行

- ①一般用「NAHA-NAVI」 年3回発行 26万部発行
修学旅行用「NAHA-NAVI」 年2回発行 30万部発行

県内会員企業や観光施設・宿泊施設・交通機関などに配布、さらに県外旅行社、修学旅行関係者、学校、沖縄観光コンベンションビューロー県外事務所に配布。

今年度も那覇市国際通り商店街振興組合連合会とタイアップし、国際通りの詳細図および店舗紹介MAPを掲載し、好評であった。

- ②「NAHA-NAVI」は広告収入で維持しており、継続発行するため、会員企業を中心に広告を依頼。今年度は8,370千円の広告収入であった。

NAHA-NAVI 収支 単位:千円

広告収入	発行経費	収 益
8,370	7,564	806

(3) 那覇市観光協会ホームページ(観光情報サイト 那覇ナビ)の運営

WEBを活用した情報提供が重要となっており、当協会としてもホームページに特集記事を掲載し、イベント情報や会員企業との連携情報の提供に努めた。

今後さらに観光客ニーズを捉えた情報発信や会員企業との連携を強化しながらSNS等を活用して情報発信に努める。

(4) 第42代那覇観光キャンペーンレディの活動

那覇市の観光を国内外にアピールし、観光誘客促進と受入事業の充実・強化に取り組むため、那覇市の親善大使として「那覇観光キャンペーンレディ」2名を選出。県内外からの要請に応じてイベントなどに参加。派遣回数は60回に及んだ。

主な県外の参加イベント

- ・神戸(5/20~22) 第47回神戸まつり
- ・金沢(6/2~5) 金沢百万石まつり
- ・東京(6/24~25) めんそ〜れ沖縄・那覇デー(東京ドーム)
- ・宮崎(10/14~15) 第40回飫肥城下まつり
- ・神戸(11/28~30) クルーズ船・飛鳥II 船内での観光案内(神戸~那覇)
- ・大分(1/10~12) 第33回「沖縄の観光と物産展」
- ・長崎(2/23~25) 長崎ランタンフェスティバル
- ・神奈川(2/24~25) 第40回那覇の物産展
- ・静岡(3/30~4/2) 第62回静岡まつり

主な県内の参加イベント

- ・那覇市96周年式典、観光月間キャンペーン、県産品奨励キャンペーン、他
- ・那覇の三大祭り(那覇ハーリー、那覇大綱挽まつり、琉球王朝祭り首里)
- ・沖縄国際映画祭、NAHA マラソン、読売巨人軍那覇キャンプ 他イベント

2. 観光客の誘客・受入事業

(1) 那覇市観光案内所の運営

日本政府観光局のビジットジャパン案内所(カテゴリーⅡ)として国内外の観光客を迎え那覇市内、沖縄県内の観光地案内、交通案内、会員店舗のパンフレット配布と、情報発信などを行った結果、平成29年度は10万人を超える来訪者があった。

平成29年度 那覇市観光案内所来訪者

	来訪者数 (人)		前年度比(%)
	平成28年度	平成29年度	
国内客	80,942	83,148	2.7
外国人	16,047	16,865	5.1
合計	96,989	100,013	3.1

外国人・国別来訪者数

	来訪者数 (人)			来訪者数 (人)		前年度比 (%)
	来訪者数 (人)	前年度比 (%)		来訪者数 (人)	前年度比 (%)	
① 台湾	4,617	50.6	⑥ フランス	754	-12.2	
② 中国	2,087	-25.5	⑦ ドイツ	593	30.6	
③ 香港	1,933	-7.6	⑧ シンガポール	537	73.8	
④ 韓国	1,926	-7.3	⑨ タイ	492	234.7	
⑤ アメリカ	1,024	-11.2	⑩ オーストラリア	459	25.4	

* 那覇市観光案内所の来訪者が10万人を突破した。

国内客は、入域観光客の増加を反映して、案内所来訪者も前年度比2.7%増とコンスタントに増えた。

外国人の入域観光客は、台湾、韓国、中国本土、香港とも前年度比約20%以上の増加があったものの、案内所来訪者は台湾が対前年度増となったが、中国本土、香港、韓国等は減少した。全体としては5.1%増となっている。

なお、タイ、シンガポールの増は、直行便の就航によるものと思われる。

(2) ショップなはの運営

「ショップなは」では、那覇市の特産品を中心に県内のこだわり商品を販売した。

- ① 那覇の物産展那覇市長賞・優秀賞受賞商品
- ② 那覇市の特産品やイベント等の観光資源をキャラクターにした那覇土産「龍柱会議」の商品
- ③ 読売巨人軍応援グッズ

④県内のこだわり土産品

「ショップなは」の平成29年度売上げは、15,230千円で前年度比6.8%減となった。

(3) 観光まち歩き整備事業(那覇まちま〜い)

①参加者数 14,910名 (前年度比−5.2%)

売上 16,015千円 (前年度比−12.4%)

②団体扱い旅行者の減少が「那覇まちま〜い」への参加者減少となった。

旅行社を通じての参加者が減少したことで、コース数を調整するなど事業効率を改善した。結果、参加人数、売上は減少したが事業効率・運営収支は改善された。

今後は、新コースの提案を含めシーズン限定、イベントコース、新たな体験や食べ歩きなどの企画を強化し提案していく必要がある。また、カリスマと言われるガイドの育成に努め、新たな商品開発により、幅広い層の参加者の獲得に努める。

③修学旅行の「那覇まちま〜い」受入を強化する。

新しい平和学習プログラムとして継承型語り部「朗読劇」の実施。

学生が理解し易く楽しめるクイズ形式の参加型コースとした。

「那覇まちま〜い」参加校 7校 887名

朗読劇 6校 772名

(4) 外国人観光客受入整備事業

大幅に増加する外国人観光客受入事業として9名で取り組んだ。

①企業・店舗語学サポート

会員企業を中心に各企業・店舗に言語サポート要員を派遣し、語学指導を実施。

61事業所 述べ869回派遣

②語学講座

土産品店、飲食店、ホテル従業員など観光関連事業所のスタッフに対して、英語、中国語、韓国語の語学講習を実施した。

41コマの講座を開催 431名が受講した。

③クルーズ入港時のサポート

クルーズ船入港時に那覇クルーズ促進協議会の要請に応じ、入港岸壁で観光客に対する案内サポートを派遣した。派遣回数 204回

④外国人観光客の動向調査

クルーズ船ターミナルや国際通りで外国人観光客動向や沖縄に対する意見をアンケート調査し那覇市に報告。

⑤那覇市の各イベントおよび防災対策において通訳補助や表示・案内物の翻訳等を実施した。

(5) クルーズ受入推進事業

那覇クルーズ促進協議会より、クルーズ船受入事業の委託を受け、クルーズ寄港時に若狭クルーズ船ターミナルや安謝新港旅客待合所に臨時観光案内所を開設。乗客、乗員への観光案内サービスやタクシー案内等を実施した。要員は当協会の外国人観光客受入整備事業のスタッフ及びボランティアガイドが中心になり対応した。

平成29年度クルーズ船の那覇入港回数	247回(前年度192回)
同	客数 546,000人(前年度 330,000人)

前年度を大きく上回る客数であったが、貨物港(安謝新港)における旅客受け入れのためのインフラ整備、2次交通対策(タクシー、バス等)雨の日対策が急務となっている。

(6) 観光クーポン券取扱事業

那覇市の観光・文化財施設である識名園、玉陵、福州園、那覇市歴史博物館、那覇市壺屋博物館に関し、全国の旅行社とクーポン券取扱契約を締結し、各施設の集客に努めた。しかし以下の要因が大きく前年度マイナスとなった。

①観光の形態の変化する中で、一般団体旅行における旅行社紹介等の扱いが減少、個人旅行が増加しておりクーポン券事業も減少傾向にある。

②修学旅行の施設訪問、クーポン券利用の減少

③クルーズ客のバスツアーの施設訪問、クーポン券利用減少

このことから、クーポン券取扱実績は3,966千円で前年度比24.4%減となった。今後、個人旅行者及び団体旅行(修学旅行・クルーズ客等)などへターゲットを広げ営業活動に努める。

3. 指定管理受託事業

(1) 波の上ビーチ広場

那覇市から指定管理業務を受託し、波の上ビーチに隣接する「同広場」の管理・運営を行った。ビーチ利用客および市民、観光客のための売店運営・バーベキュー事業を展開し、多くの市民、観光客に喜ばれた。

また、地域との連携を強化し、同施設の清掃業務を地域自治会に委託実施した。

平成29年度 波の上ビーチ広場 管理・運営収支報告

単位:千円

管 理		
収 入	7,943	管理委託料、シャワー収入、他
支 出	10,261	賃金、備品代、修繕、清掃、保険、他
損 益	-2,318	
自主事業		
収 入	15,094	売店、バーベキュー売上、コインロッカー 他
支 出	12,100	賃金、仕入、備品、消耗品 他
損 益	2,994	
合計損益	676	収益の 1/2 (338 千円)は那覇市に返納

(2) 松山公園文化交流施設

那覇市から指定管理業務を受託し2年目を迎え、福州園、クニンダテラス、松山公園駐車場の管理運営に取り組んだ。平成28年度(指定管理初年度)は、5月から有料とした為、4月の無料入園者が約1万人と多かったこともあり、入園者合計は前年度マイナスとなった。

平成29年度 福州園入園者数 60,196人(前年度比-5.6%)

平成29年度の主な取り組み

①完全自主事業(前年度は県補助事業)として福州園のライトアップ事業に取り組んだ。

10月～3月末 毎週末3日間 開催、毎週土曜日は二胡演奏を実施。

②福州園での貸切パーティーなど、アフターMICEの営業をスタートした。

平成29年度 松山公園文化交流施設 収支報告

単位:千円

歳 入		
指定管理料	20,400	指定管理料、修繕費
利用料金	18,855	福州園入園料、飲食店手数料 他
自主事業	7,390	駐車場、イベント収入
合 計	46,645	
歳 出		
固定費	18,003	人件費、光熱費、宣伝費、事務費
一般事業	25,168	清掃、整備、ごみ処理、修繕
自主事業	3,473	イベント設営、運営、管理費
合 計	46,644	
収支合計	1	

4. イベント事業

那覇市の三大祭りをはじめ歴史、伝統、文化、芸能、スポーツ等のテーマで繰り広げられるイベントを積極的に取り組み、観光客誘客および市民交流に寄与した。

(1) 第9回沖縄国際映画祭【平成29年4月20日(木)～4月23日(日)】

那覇市がメイン会場となり離島を含む沖縄全県で多くのイベントが開催された。会期中の来場者は約33万人、海外を含む全国メディアによる媒体広告露出広告換算費は46億円を越すものとなった。

(2) 第43回那覇ハーリー【平成29年5月3日(水)～5月5日(金)】

当協会が那覇ハーリー実行委員会の事務局を担い、実施された。3日間好天に恵まれ、多くの観客で賑わった「2017那覇観光キャンペーンレディ」の認定証交付式も開催された。
・来場者数 174,000人

(3) 第47回那覇大綱挽まつり【平成29年10月7日(土)～10月9日(月)】

当協会が主管した「市民演芸・民俗伝統芸能パレード」は、那覇市長を先頭に、県外の那覇市友好都市から親善大使も参加。県内外の伝統芸能グループや団体など35団体が参加、さらに東京ディズニーランドから「ミッキーマウスと仲間たち」の人気キャラクター8体も参加、天候も良く会場の国際通りには市民・観光客が集まり賑わった。

祭り期間中(市民演芸・民俗伝統芸能パレード135,000人、大綱挽き270,000人、RBC市民フェスティバル350,000人)で祭り全体の来場者は755,000人であった。

(4) 第33回NAHAマラソン【平成29年12月3日(日)】

太陽と海とジョガーの祭典として「第33回NAHAマラソン」が開催された。「万国津梁の鐘」の音でスタート、午前中はくもり空であったが午後からは雨となった。しかし、沿道の大きな応援に励まされ昨年を大きく超える完走率であった。当協会は「NAHAマラソン」協会の一員として、実施のための諸手続きおよび安心安全のための「医療救護部会」の運営に携わった。

・参加者数(出走者) 24,874人 ・完走者数17,342人(完走率 69.7%)

(5) 読売巨人軍那覇キャンプ【平成30年2月1日(木)～2月28日(水)】

今年から3軍キャンプも開催され、約1ヶ月間の巨人軍キャンプとなった。期間中当協会が呼びかけ「巨人軍那覇キャンプクリーンアップ作戦」を展開。会場のセルラースタジアム那覇周辺の清掃活動、プランターへ苗の移植など、多くの巨人軍ファンや少年野球チームを含め160名が参加して機運を盛り上げた。また、当協会では巨人軍応援の那覇オリジナルグッズとして「巨人軍かりゆしウェア」や「琉球ガラスのコップ」を製作、販売した。

・2月1日(木)～2月13日(火) 3軍キャンプ 5,870人
・2月15日(木)～2月28日(水) 1軍キャンプ 98,548人
・春季キャンプ中の来場者合計 104,418人